

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊
(固有名称)

独立歩兵第三九三大隊

職官
陸軍軍医中尉

終戦時ノモノヲ
記ス

全右所在地

沖繩縣宮古島

氏名



支那軍總以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

昭和十六年七月三十日臨時召集、歩兵五七師團、四野野戰病院附、滿洲北字省泰安鎮附近ノ警備
昭和十七年十月二十日、歩兵八十九兵站病院ニ轉属、滿洲黑河陸病及、奉天省熊岳城陸病、援助業務
昭和十九年八月十五日、独立歩兵第三九三大隊附

職ノ變更及主ナル參加戰關名ヲ記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

昭和十九年八月十日編成下令、昭和十九年八月十五日、獨立歩兵第三九三大隊編成完結(於滿洲公主嶺)

所屬部隊作戰經過ノ概要

昭和十九年八月十八日公主嶺発
昭和十九年九月十四日沖繩縣本島宮古島着
爾後同島ノ守備
昭和二十年八月十五日終戦ノ大詔發

最後ノ所屬部隊ヲ主ニシテ、以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ併記ス

終戦(又ハ主力ノ戰關終了)後ノ概況

昭和十九年十二月二十七日宮古島発
同年 十二月二十四日沖繩本島着、爾後屋嘉
收養所
昭和二十一年三月二十日沖繩本島発
同年 三月二十七日浦賀港着
同年 三月三十日復員

歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス

歸郷(又ハ連絡)先



其ノ他ノ參考事項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

2

2 Mm

史實調査參考資料報告

摘要

所屬(部隊固有名称)	全右所在地	職官	終戦時ノモノヲ記ス
独立歩兵第三大隊	沖繩縣宮古島	陸軍中尉	終戦時ノモノヲ記ス
支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	独立自動車第三連中隊長(昭和二十一年三月二十九日)	[Redacted]	職ノ變更及主ナル参加戦闘名ヲ記ス
所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	編成年月日 昭和一九八、一五 編制裝備 乙	[Redacted]	職ノ變更及主ナル参加戦闘名ヲ記ス
所屬部隊作戦經過ノ概要	防禦陣地構築ニ終始ス	[Redacted]	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ併記ス
終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	空力ハ昭和二十一年四月末迄、各個帰還ス	[Redacted]	歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス
先歸郷(又ハ連絡)	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其ノ他ノ參考事項	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス		

MW

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名称)	職官	修戦時ノモノヲ 記ス
獨逸軍第三大隊	江東中尉 青野	修戦時ノモノヲ 記ス
全右所在地	氏名	職ノ變更及主ナル 参加戦闘名ヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	滿洲軍令署長職員下ノ服務	職ノ變更及主ナル 参加戦闘名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	昭和二十一年三月二十八日 大隊司令部下ノ編成	職ノ變更及主ナル 参加戦闘名ヲ 記ス
所屬部隊作戦經 過ノ概要	昭和二十一年三月二十八日 大隊司令部下ノ編成	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ併記ス
終戦(又ハ主力 ノ戦闘終了) 後ノ概況	同日	歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
先 歸郷(又ハ連絡)	[Redacted]	[Redacted]
其ノ他ノ參考事 項	ナシ	[Redacted]
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス	[Redacted]

35

235

昭和393大隊

史実調査参考資料報告 昭和三十一年三月		所属部隊 第三四一部隊		石所在地 伊良部一宮古島		支那軍変以 降於自 己略尸		所属部隊 編成年月日 及編制裝備 概要		所屬部隊 概要		終戦又ハ 戦後了 概況		帰郷又ハ 送還 概況		其他ノ参 考事項		備考 俘校一部宛記載セシメ 復員省又実部ニ送付ス	
		職 少隊長		氏名 [Redacted]		終戦時 ノウ記ス		職 支那軍 変更及 主ナル参 加戦 斗名ヲ記ス		最後ノ所屬 部隊ヲ記 三尚ソ以テ 所屬部隊 ノ分ヲ概記 ス		終戦後引揚キ 官古島ニ在リ 四月廿九日 伊良部一宮古島 上陸、 四月廿九日 官古島上陸 不		終戦後引揚キ 官古島ニ在リ 四月廿九日 伊良部一宮古島 上陸、 四月廿九日 官古島上陸 不		[Redacted]		備考 俘校一部宛記載セシメ 復員省又実部ニ送付ス	

昭和三十一年三月
 史実調査参考資料報告
 第三四一部隊
 伊良部一宮古島
 少隊長
 [Redacted]
 終戦時ノウ記ス
 職支那軍変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス
 最後ノ所屬部隊ヲ記三尚ソ以テ所屬部隊ノ分ヲ概記ス

史実調査參考資料報告

摘要

393大

所屬部隊	警一二九四一	職	十隊長	級	少尉	終戰時ノ ノヲ記ス
右所在地	白根部一宮古	氏名	[Redacted]			

支那事変以
降於自
己ノ略ノ

職ノ変更及
主ナル参加
斗名ヲ記ス

所屬部隊ノ
編成年月日
及編制裝備
ノ概要

昭和十九年八月十五日於公主嶺
編成之終

最後ノ所屬
部隊ヲ記ス
ニ商以テ
ノ所屬部
ノ分ヲ概

所屬部隊
ノ概要

昭和十九年九月十八日白河支隊上陸
昭和二十一年六月十日宮古(轉任)

終戰又ハ事
ノ戦ヲ終了
スル状況

宮古島帯在 廿年十二月廿日
上陸 廿四日上陸
屋敷收斂所
廿一年三月下旬折出 馬場收斂所

歸還輸送ノ
状況ヲ併
記ス

帰郷(又ハ連
絡)ノ
終了

[Redacted]

其他ノ參
考事項

[Redacted]

備考

停校一部宛記載ニ
上復員省史実部ニ送付ス

45

95

戰史資料調查件一四〇

獨之混成第五旅團獨之第五第三九三大隊



一部隊名 獨之混成第五旅團獨之第五第三九三大隊
一部隊履歷 概要

昭和五年八月十五日滿洲國吉林省公主嶺 於編成
完結同年同月七日編成地公主嶺出發同月二十日
金山至同月二十七日金山出發同月三十一日門司上陸九
月四日門司出發同月廿五日仲禮縣 宮古支廳宮
古港灣着月廿七日伊良波島上陸後伊良波島守備
六月廿日宮古島移駐同島守備中同年十一月十五日
復員 宮古島出發同月三十日伊賀上陸

一部隊長氏名 陸軍大尉 山口 敏彦(九月轉屬)

指揮隷屬關係

指揮關係

第二十八師團

隷屬關係

上陸開始三年五月迄(第三十軍)

五月ヨリ第十方面軍司令部(台湾)

参加主要作戦

天一號作戦(二級戦)

死傷

戦死 二名

戦傷死 二名

戦傷 五名

損耗 兵器

九九式短小銃若干被奪受ケルモ

修理ニ依テ支障ナシ

弾薬小銃弾七〇発

被服

ナシ

一給養

主食 上陸以來終戦迄至主食給養

一、一九四九年九月伊良部島上陸以來一九五〇年五月迄至食八日量

六三〇瓦ヲ給スルモ同島陸揚ガ運搬係ル糧秣減耗及ビ

野積ニ依ル雨水等浸透係リ腐敗等損耗甚ク六三〇瓦

ニ確保ス下關ニ困難成リ特ニ一九五〇年三月以降戦配薄ニ付

タル爲中隊炊事ニ遂行ト同時ニ海岸防禦工事激進力多

クテ給養甚ク低下セリ

〇六月百官古島轉進ニ際シ糧秣輸送ヲ行ヒ結果ニ夜間

ノ緊急輸送ナリシタ玄米七天甚ク而シテ玄米支持日數

八六三〇瓦ニ依ル九月末迄収能シテ七月有ヨリ三〇〇瓦ヲ給

スニ至ル結果給養自取患状能トナリ

而シテ主食ヲ補ルニ兩島ニ甘藷ニシテ兩島共土地肥

沃ナク依テ現地皆枯死ニ産出量乏ク又島民征出量僅少